

静岡女大家政 河村 房代  
 ○塚本 桃代  
 横田 文子

1. 本研究は静岡県人の体位と体型を知るために、同一方法で同一時期に計測された全国の資料と比較したものである。ここでは特に皮下脂肪厚とローラー示数及び思春期における女子の体型・体位についてとりあげた。

2. 資料は1966~67年の7月又は8月に計測した静岡市内在住の5歳~29歳の男女計1764名のものである。但しR.示数1.6以上(5,15~29歳)と1.5以上(6~14歳)の資料は含まない。

研究項目は身長・下肢長・上肢長・背肩幅・胸囲・胴囲・腰囲・背部皮下脂肪厚・上腕部皮下脂肪厚・体重及びR.示数の10項目で、それぞれ性別・年齢別に集計観察した。

3. ④皮下脂肪厚は青年期男子の場合以外は上腕部の方が背部より厚く、両部位とも女子が優位で加齢と共に増加する。女子は思春期的増加が著しく15歳でほぼ成人値に達する。男子では上腕部脂肪厚が11歳を上限として13~14歳まで著しく減少し19歳で最低を示した。

⑤R.示数は男女とも5歳で約1.4を示し徐々にやせ型へ移行するが、女11~12歳乃至男14~15歳を下限として再び上昇を示した。下降期では女子が稍やせ型であり、上昇期では女子の増加率が高いので男女の差が大きい。20~21歳では男子1.25, 女子1.36であった。

⑥女子の思春期的成長は10~11歳から14~15歳まで続き、15歳では既潮者が98%に達し、その体位・体型は殆んど成人女子と変らない。初潮年齢は10歳5ヵ月から15歳7ヵ月まで5ヵ年の個人差がみられたが平均12歳8ヵ月であった。